

貸借対照表及び個別注記表

(第 19 期)

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

株式会社 J I M O S

福岡市博多区冷泉町 2 番 1 号
博多祇園M-SQUARE7 階

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,019,092	流動負債	902,575
現金及び預金	862,248	買掛金	174,789
受取手形	654	リース債務	14,441
売掛金	675,628	未払金	396,230
商品	541,357	未払費用	28,599
貯蔵品	225,496	未払消費税	21,014
仕掛品	44,238	未払法人税等	77,515
前払費用	101,605	賞与引当金	59,883
未収入金	3,544	販売促進引当金	123,389
短期貸付金	500,000	その他	6,713
繰延税金資産	80,742	固定負債	151,395
貸倒引当金	△16,621	長期リース債務	11,452
その他	196	退職給付引当金	139,942
固定資産	604,680		
有形固定資産	103,992	負債合計	1,053,971
建物	40,818	(純資産の部)	
器具及び備品	42,674	株主資本	2,538,467
リース資産	20,500	資本金	350,000
無形固定資産	196,108	資本剰余金	87,500
ソフトウェア	187,086	資本準備金	87,500
リース資産	2,024	利益剰余金	2,100,967
ソフトウェア仮勘定	6,998	その他利益剰余金	2,100,967
投資その他の資産	304,579	別途積立金	1,328,727
投資有価証券	94,120	繰越利益剰余金	772,240
長期前払費用	1,482	評価・換算差額等	31,333
敷金保証金	169,718	その他有価証券評価差額金	31,333
繰延税金資産	39,257		
資産合計	3,623,773	純資産合計	2,569,801
		負債純資産合計	3,623,773

(注1) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期純利益 368,290千円

個別注記表

重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① その他有価証券

- ・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差

額は、全部純資産直入法により処理し、売却

原価は移動平均法により算定)

- ・時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業組合等への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合等の事業年度に係る財務諸表及び中間財務諸表に基づいて、組合等の損益のうち持分相当額を純額で計上しております。

② たな卸資産

- ・商品、貯蔵品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

- （リース資産を除く）

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

器具及び備品 3年～15年

② 無形固定資産

- （リース資産を除く）

定額法

なお、ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

- | | |
|-----------|--|
| ① 貸倒引当金 | 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |
| ② 賞与引当金 | 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。 |
| ③ 退職給付引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。 |
| ④ 販売促進引当金 | 販売促進を目的とするポイント制度に基づき、顧客に付与したポイントの利用に備えるため、過去実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を計上しております。 |
- (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理は税抜方式によっております。